



2023年2月10日

各位

会社名 株式会社カオナビ  
代表者名 代表取締役社長 Co-CEO 佐藤 寛之  
(コード：4435、東証グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 橋本 公隆  
(Email：ir@kaonavi.jp)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月12日に公表した2023年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年3月期通期業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

|                         | 売上高                  | 営業利益             |
|-------------------------|----------------------|------------------|
| 前回発表予想 (A)              | 百万円<br>5,740 ~ 5,890 | 百万円<br>120 ~ 300 |
| 今回修正予想 (B)              | 5,960                | 282              |
| 増減額 (B - A)             | 70 ~ 220             | △18 ~ 162        |
| 増減率 (%)                 | 1.2 ~ 3.8            | △6.0 ~ 135.0     |
| (参考) 前期実績<br>(2022年3月期) | 4,496                | 174              |

#### 2. 修正の理由

「カオナビ」の月額利用料から計上されるストック収益につきましては、新規顧客の獲得と顧客単価の上昇が当初の計画を上回って推移していることに加えて、解約率も低水準で推移していることから、前回発表を上回る成長を見込んでおります。初期費用や有償サポート等から計上されるフロー収益につきましては、受注が堅調に推移しており、前回発表の予想レンジ内で着地する見通しです。

ストック収益：(前回発表) 4,970 ~ 5,060 百万円、(今回修正) 5,150 百万円 (前期比+31.0%)

フロー収益：(前回発表) 770 ~ 830 百万円、(今回修正) 810 百万円 (前期比+43.3%)

営業利益につきましては、売上高を上方修正したものの費用の見直し等を実施した結果、前回発表の予想レンジ内で着地する見通しです。当初の計画から増加した主な費用は、広告宣伝費と本社移転に伴う加速償却費になります。広告宣伝費は、主要 KPI が堅調に推移していることを踏まえ、第4四半期に当初の計画を上回る積極的な支出を予定しております。また、昨年9月に、多様で柔軟な働き方を今後も継続・発展させていくことを目的に本社移転を決議しており、現本社の建物や敷金未償却部分の加速償却が発生することとなりました。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報を基に作成しているため、実際の業績は様々な要因により上記予想数値と異なる可能性があります。

以上